

パフォーミング・アーツ学科／メディア・アーツ学科 ビジュアル・アーツ学科

カリキュラムの特徴

■必修科目と必修選択科目 特定の学習領域に進むための基礎と指針

単位
のしくみ
p. 11

パフォーミング・アーツ学科、メディア・アーツ学科、ビジュアル・アーツ学科の専門科目群には必修科目と必修選択科目があります。これらの必修科目と必修選択科目は、玉川大学芸術学部の学生として、みなさんの人間形成や将来のキャリアアップを考えた場合、最低限の基礎科目として学ぶ必要があると考えられるものです（詳しくは、各学科の「教育課程表」を参照してください）。

必修科目と必修選択科目を確実に学んでおくことは、芸術や芸術活動に関する視野を広げるばかりではなく、専門科目（導入科目・発展科目・専攻科目）を選択する指針を得ることにもなります。さらに芸術の何を自分の柱にして勉強し、卒業していくかを定める手掛かりを与えてくれます。

卒業要件

GPA
計算例
p. 21

芸術学部を卒業するためには、パフォーミング・アーツ学科、メディア・アーツ学科、ビジュアル・アーツ学科ともに、以下の3つの要件をクリアしなければなりません。

- ① 次頁の図表に基づいて、卒業に必要な124単位を修得すること。
- ② 芸術学部専門科目群の累積GPA（科目成績平均値 Grade Point Average）として2.00ポイント以上を獲得すること。
- ③ 本学部で実施している「アート・スタンダード検定」レベル5をクリアしていること。
*たとえ124単位以上を修得していても、GPA数値が2.00未満の場合、また「アート・スタンダード検定」レベル5が不合格である場合には、卒業できません。

芸術学部がGPAおよびアート・スタンダード検定を重要と考えるのは、水準の高い形で学位を修得してほしいと考えるからです。現代は以前にもまして、クオンティティー（量）よりクオリティ（質）が問われる時代です。クオリティの高いことは、何よりもみなさん自身の社会的評価をあげることになります。大学が社会的評価の高い人材を社会に送り出すことで、みなさん自身も、またみなさんの後輩も社会から受け入れられることにつながります。就職や大学院進学、海外留学に際し、道をひらくものとして、高評価の成績に優るものではありません。

1 卒業要件単位数 —— 合計124単位以上

卒業要件の124単位には必ず以下が含まれていなければなりません。

	科目群	必要単位 (GPA)	履修条件、および備考
コア科目群	全人教育・FYE科目群	9単位	全科目必修
	言語表現科目群 社会文化科目群 自然科学科目群 総合科目群	24～32単位	各科目群から4単位以上を修得すること。なお、4科目群の合計修得単位数が32単位を越えた場合、その越えた分については卒業要件には含まれない。
	専門科目群		
専門科目群	導入科目群	21単位以上	それぞれ必修・必修選択科目を含む。詳細は各学科で異なるため、次ページ以降にある「各セメスターの履修条件」および学科別の「履修上の留意事項」を参照のこと。
	発展科目群	20単位以上	
	専攻科目群	7単位以上	

2 専門科目GPA —— 2.00以上

卒業要件GPA数値は、専門科目群の成績評価を基に算出します。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{専門科目群修得単位} \times \text{成績値}) \text{の合計}}{\text{履修登録専門科目の単位合計}}$$

セメスター末の成績表には、修得したすべての科目を対象とした累積GPAと芸術学部の専門科目群を対象とした累積GPA（特定科目GPA）が記載されています。卒業要件となるGPAは、芸術学部の専門科目群の累積GPA（特定科目GPA）です。

(注) 専門科目群とは、芸術学部全学科の導入科目群・発展科目群・専攻科目群です。
ただし、履修上限外科目・学芸員資格取得に必要な必修科目・教職関連科目群は含まれません。

3 アート・スタンダード検定 —— レベル5までの合格

検定試験の実施詳細については、1年次にガイダンスを行い説明します。

4 卒業要件に関するその他の注意事項

■C評価、F評価の再履修について

再履修によって、以前の評価を上回る評価が獲得できた場合には、以前の評価（C評価、F評価）を上書きし、GPAを上げることが可能です。希望する場合は下記の条件を確認し、手続きをしてください。

- (1) 再履修といえども、セメスターの履修上限20単位を超えて履修することはできません。
- (2) C評価科目の再履修が認められるのは芸術学部の専門科目群の科目のみとなります。専門科目群累積GPA（特定科目GPA）の算出に含まれない科目およびコア科目群は対象外です。
- (3) 再履修を希望する場合には「C評価科目再履修願」の用紙に必要事項を記入した上で、教務担当教員の許可が必要となります。

※詳細に関しては、ガイダンスならびに掲示等で確認して下さい。

■履修登録科目の取り消しについて

芸術学部では自学部・学科開講の科目に限り、学期の途中で履修を取り消しできる期間を設定しています。卒業要件のなかにGPA2.00以上が含まれていますので、C評価やF評価になる可能性の高い科目の履修を、この期間に取り消すこともできます。取り消し期間や手続きの詳細については掲示等で連絡します。

 GPA計算例
p. 21

 履修上限外科目
p. 33

 学芸員
p. 172～173

 芸術学部教職関連科目群
教育課程表 p. 148

■卒業延期の場合の卒業要件

9 セメスター以上の在籍となった場合でも、p.130に掲げられた卒業要件をすべて満たすまで、卒業はできません。

履修条件と学習継続条件

履修にあたっては、以下に示すように、各セメスターの履修条件を満たさなければなりません。セメスターごとに履修条件が設定されているのは、節目ごとに学習状況をチェックするためです。芸術学部では各セメスターの履修条件が満たせなかった学生に対して、「警告」のほか「注意」を行っています。

1 履修アドバイスの内容



指導の種類	担当教員	内 容
アカデミック・アドヴァイス	担任 教務担当 教務主任 等	①卒業に向けての累積単位数、およびGPA数値の確認 ②学習方法、学習姿勢に関するアドヴァイス
注意	担任 教務担当	各セメスターで累積修得単位数がセメスター規定を下回った場合、もしくは専門科目の累積GPAが2.20を下回った場合に「注意」を行う。
警告	教務担当 教務主任 学科主任	p.25参照

* 「注意」「警告」指導においては、とくに以下のアカデミック・アドヴァイスを行います。

- ①履修相談全般（履修方法、履修モデル、科目について）
- ②履修状況の確認・注意（セメスター修得単位数、累積単位数、累積GPA数値等）

2 各セメスターの履修条件

	履修条件		「注意」[アカデミック・アドヴァイス]の対象者 以下(1)又は(2)の場合	
	各セメスターの履修上限単位数	以下の科目は設定されたセメスターで単位を修得することが望ましい	(1)セメスター終了時の累積単位数が、下記の単位数未満の学生	(2)専門科目群の累積 GPA が下記の値未満の学生
第1セメスター	20	全学科 コア全人教育・FYE科目群（必修）4単位 パフォーマンス・アーツ学科 [導入科目] ①必修科目「パフォーマンス・アーツ概論」2単位 ②必修選択科目「音楽史基礎」「演劇史基礎」より2単位 メディア・アーツ学科 [導入科目] 必修科目「メディア・アーツ概論」「ゼミナールⅠ」4単位 ビジュアル・アーツ学科 [導入科目] ①必修科目「ビジュアル・アーツ概論」2単位 ②必修科目「平面造形基礎」または「立体・空間造形基礎」2単位 ③必修選択科目「美術史基礎」「デザイン史基礎」より2単位	16	2.20
第2セメスター		全学科 コア全人教育・FYE科目群（必修）5単位 パフォーマンス・アーツ学科 [導入科目] 必修選択科目「音楽文化概論」「現代演劇論概説」より2単位 メディア・アーツ学科 [導入科目] ①必修科目「ゼミナールⅡ」2単位 ②必修選択科目「コンピュータ概論」「造形メディア論」より2単位 ビジュアル・アーツ学科 [導入科目] ①必修科目「平面造形基礎」または「立体・空間造形基礎」2単位 ②必修選択科目「現代芸術論概説」「美術論概説」より2単位	32	
第3セメスター		パフォーマンス・アーツ学科、ビジュアル・アーツ学科 [発展科目] 必修選択科目「芸術教育と支援」「鑑賞批評論」「芸術経営論」より2単位以上	47	
第4セメスター		メディア・アーツ学科 [発展科目] ①必修科目「情報倫理とセキュリティ」2単位（第3セメスター） ②必修選択科目「芸術と支援」「鑑賞批評論」「芸術経営論」「コンテンツビジネス」より2単位以上	62	
第5セメスター		パフォーマンス・アーツ学科 パフォーマンス・アーツ研究 メディア・アーツ学科 メディア・アーツ研究 ビジュアル・アーツ学科 ビジュアル・アーツ研究	73	
第6セメスター		/	84	
第7セメスター			104	
第8セメスター			卒業不可能な学生	
卒業延期者のセメスター規定				

★その他に芸術学部全学科共通の必修科目として、「アート・スタンダード検定」があります（第1セメスターから開講）。

履修上の留意事項 —— 芸術学部専門科目の履修について

1 学部共通演習科目

- (1) ローマ数字（Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ…）のついている科目は、数字の若い順に履修します。数字の途中からは履修できません。「卒業プロジェクト」は「芸術専門研究Ⅰ」または「芸術専門研究Ⅱ」と同時に履修します。
- (2) 「芸術演習A・B」「芸術専門研究Ⅰ・Ⅱ」「卒業プロジェクト」については、事前にガイダンスが行われます。ガイダンスに出席しないと履修できない場合があります。これら以外の科目もガイダンスが行われる場合がありますので、Web（UNITAMA/Blackboard @Tamagawa）および校舎の掲示に注意してください。
- (3) 下記以外の先行履修条件については、次頁以下の音楽・演劇・舞踊・美術の名実技科目履修の流れを参照のこと。

2 論文を執筆する場合の先行履修条件（卒業プロジェクトを実技系で行わない場合）

- (1) 「芸術専門研究Ⅰ」を履修するためには、「芸術演習A」または「芸術演習B」を履修済であること。
- (2) 「卒業プロジェクト」を履修するためには、「芸術専門研究Ⅰ」または「芸術専門研究Ⅱ」を同時に履修すること。
(次の表のように履修していきます)

開講semester	先行履修科目名
第5 semester 第6 semester	芸術演習 A または 芸術演習 B
第7 semester	芸術専門研究Ⅰ 卒業プロジェクト
第8 semester	芸術専門研究Ⅱ 卒業プロジェクト

- (注) 「芸術演習A」「芸術演習B」を履修するにあたっては「文献資料研究 A または B」「鑑賞批評論」「芸術教育と支援」履修者が優先されます。

3 企画経営系科目の履修条件

- (1) 企画経営領域の「芸術専門研究Ⅰ」を履修するためには、「芸術経営論」、「マーケティング研究」、「アートマネジメントⅠ・Ⅱ」、「芸術演習A」または「芸術演習B」を履修済であること。
- (2) 「卒業プロジェクト」を履修するためには、「芸術専門研究Ⅰ」または「芸術専門研究Ⅱ」を同時に履修すること。
- (3) 「アートマネジメントⅠ」を履修するためには、「公共文化事業研究」を履修済であること。
- (4) 「公共文化事業研究」を履修するためには、「文化政策論」を履修済であること（次の表のように履修していきます）。

開講セメスター	先行履修科目名		
第3セメスター	文化政策論	マーケティング研究 (5セメでも可)	芸術経営論
第4セメスター	公共文化事業研究		
第5セメスター	アートマネジメントⅠ	芸術演習A または 芸術演習B	
第6セメスター	アートマネジメントⅡ		
第7セメスター	芸術専門研究Ⅰ 卒業プロジェクト		
第8セメスター	芸術専門研究Ⅱ 卒業プロジェクト		